

## 活動概要

### 1. 活動内容

リズム運動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・体づくり  
基本の運動（サーキット運動、忍者修行など）・・・・・・・・・・・・体づくり  
製作活動（紙ずもう、紙ジェット機など）・・・・・・・・・・・・手先の巧緻性  
集団あそび（風船バレー、じゃんけんゲームなど）・・・・・・・・・・・・コミュニケーション

### 2. 複数によるアセスメント

活動に際しては、毎回、アセスメントシートを活用し、子どもさんの様子を客観的に見せていただきます。それをもとに、子どもさんの「困り感」や行動の背景にある要因を分析します。そして、次の活動内容、活動場面を検討します。

### 3. 個別の目標設定：

アセスメントをもとに、個々の子どもさんに具体的な目標を設定します。単に活動をするだけでなく、それぞれの場面で、子どもさんが「どのように活動するのか」を、具体的にイメージして活動を組み立てていきます。

<個々のお子さんの目標例>

- ・ 先生の『はじめの話』を最後まで聞きます。
- ・ 分からないときは、「おしえてください」カードを見せます。
- ・ リズムあそびのときに、自分からペアを誘います。
- ・ ゲームで負けても怒りません。 など

### 4. 事後検討会

活動後、スタッフ全員で、検討会を行います。子どもさんの在籍校の担任等、参観した教員等も参加し、「目標の到達度」「手だての有効性」「活動内容」等について、意見交換をします。

### 5. 保護者会

保護者の方には、保護者と教育センター職員での座談会や個別懇談等を行います。子ども発達支援の専門家による相談会も実施します。

また、子どもさんの活動の様子を参観していただく時間も設けます。

### 6. 学校との連携

教室で明らかになった有効な支援は、学校と情報共有をしていきます。活動終了後には、「個別の指導計画」を作成し、「支援のポイント」を学校に伝えます。



教室の様子